



KONICA MINOLTA

News Release

国際印刷・メディア産業展「drupa 2024」で プロフェッショナルプリント事業のパーパスを訴求 ～8年ぶりのリアル開催で200件超のグローバル顧客との商談を成約～

2024年6月25日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）は、5月28日（火）から6月7日（金）までドイツ デュッセルドルフで開催された世界最大規模の印刷・メディア産業展「drupa(ドルツパ) 2024」の出展を成功裏に終えました。出展ブースのハイライト動画をホームページに掲載しました。

URL : <https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/movie/index.html>

8年ぶりのリアル開催となった同展示会では、初出展となるB2サイズインクジェット印刷機の最上位機種 AccurioJet（アキュリオジェット）60000やMGI Digital Technology（本社：フランス）との共同出展となる AlphaJET（アルファジェット）を中心に、印刷工程の自動化・省力化を推進することにより、印刷会社の労働環境の改善や環境負荷の低減、持続的な事業運営に貢献する各種ソリューションを訴求し、多くの反響をいただきました。

drupaは技術や製品の展示だけでなく、グローバルな顧客との商談として重要な機会です。11日間の会期中、欧州・北米・インド・中国・アジア・オセアニア・中東など世界中の顧客から、過去を大きく上回るペースで200件を超える成約を達成することができました。

コニカミノルタは、中期経営計画に掲げた強化事業の一つであるプロフェッショナルプリント事業のパーパス（存在意義）を定義し、drupaでも数多くのグローバルなステークホルダーに訴求しました。この信念のもと、事業の持続的な成長とともに社会課題を解決してまいります。



会場で商談成約後のサインセレモニー

【プロフェッショナルプリント事業のパーパス】

「デジタル印刷の力で、より良いコミュニケーションとより良い社会を実現する」ことをパーパス（存在意義）として定義します。パーパスに沿った独自の価値を継続的に提供していくことで、サステナブルな印刷業界と社会全体の実現を目指します。

- 印刷業界の大きな課題である、熟練工不足、小ロット印刷需要の増加、環境負荷低減などに対し、独自の技術とノウハウによる自動化、省力化、顧客へ寄り添うサポート力で解決していきます。
- 版が不要なデジタル印刷は「効果の高い印刷物を、必要な時に、必要なだけ、必要な場所で印刷する」ことで、印刷工程で発生する損紙の極小化や、不要な印刷の生産や流通を抑える事で環境負荷低減や、オペレーターの負荷の低減や物流業界なども含む労働力不足の解決に貢献できます。コニカミノルタは、印刷の価値の向上とサプライチェーンの変革を目指します。
- 印刷会社に対する価値訴求に加え、発注者であるブランドオーナーへのアプローチをより一層強化していきます。デジタル印刷の強みを活かしたEXplainable感性[®]ソリューション（EX感性）やAccurioDXなどのユニークなサービスにより、販促効果の高い印刷需要を創出していきます。



デジタル印刷に関わるIJコンポーネント事業や画像IoTソリューションも
独自技術によりユニークな提案で存在感を発揮

コニカミノルタは中期経営計画における事業の選択と集中を加速する中で、複数の事業間で連携したビジネス創出の活動も推進しています。

今回のdrupaでは強化事業の一つであるインダストリー事業からも出展、コニカミノルタ独自技術である薄膜IJヘッドによるハイギャップ印刷のデモを行いました。通常のヘッドでは印刷対象物との距離は1～3mmとされますが、当社のKM800H-MRでは最大20mmというハイギャップ印刷を実現、実際に段ボール搬送工程を模した動態展示を実施し、高い印字品質に対して多くのプリンターメーカーから好評価をいただきました。

また、画像IoTの力で現場のDXを加速させるキードライバーであるFORXAI®のソリューションも展示しました。一例として、3D センサーカメラと独自の画像解析を活用した冊子印刷の AI 検品 ソリューションでは、断裁・折り・製本等印刷の後加工における立体物の検品工程の自動化を提案、熟練工の目と手に代わるものとして、後加工機メーカーや印刷会社から多くの関心が寄せられました。



ハイギャップ印刷では段ボール表面が
均一でなくてもクリアな印字が可能



FORXAI®のソリューションとして自律搬送ロボットや
協働ロボットによる印刷工場内の自動化も提案



報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 広報部
担当：安部 寛 080-6831-8742 / 好井 康祐 080-5530-0976